

「令和 2 年度の重点施策」

- (1) 安全の確保を徹底させる為、関係法令の遵守とより厳しい社内基準の事項を徹底させ、現場に於いては従業員との傾聴を更に深め、常に安全の確保を追及してまいります。
- (2) 春夏秋冬の交通安全運動期間中に、社長以下管理職全員の早朝車両点検立会を実施し、事故防止の啓蒙を内外に示し、企業の安全風土の醸成を浸透化させてまいります。
- (3) ドライブレコーダ及びデジタルタコグラフの分析による、ヒヤリハット教育や速度超過、エコ運転等の指導を、日常更に強化して取り組んでまいります。
- (4) 年 2 回の定期健康診断結果に基づく面接を徹底強化し、乗務員の健康状態の把握を深め、日々の時間管理等をより細かく解析し、過労防止に取り組んでまいります。
- (5) 輸送の安全に関する費用支出や投資も積極的且つ効率的に行い、事業者としての法令適合性に関しても、定期的な内部監査を実施して情報公開をしております。
- (6) 年間 2 回の乗務員集合教育を、小グループ化して頻度を上げることにより、安全意識や技能向上を図り、情報共有の深度化による社内連絡体制を徹底してまいります。

「輸送の安全に関する事故削減目標と実績」

	令和 2 年度目標	令和 1 年度実績	平成 30 年度実績
重大事故	0 件	0 件	0 件
物損事故	2 件	3 件	4 件

「和 1 年度輸送の安全に関する投資と支出」

* 令和 1 年度車両等に関する支出投資額（合計 ¥ 595 万円）

・予防整備に関する費用支出額（¥ 240 万円）

・乗務員採用に関するもの（2 名 ¥ 100 万円）

* 乗務員教育及び健康管理に関する費用支出額（合計 ¥ 150 万円）

・乗務員無事故表彰（¥ 25 万円）

・健康起因事故防止（健康診断年 2 回受診と SAS 全員受診 ¥ 80 万円）

* 諸会議及び教育研修

・社長主導の運輸安全マネジメント会議と営業所長主導の安全推進会議〈共に月 1 回〉

・所轄警察による事故防止研修（事故防止講習・事件、テロ対策講習）

・所轄消防署による消防、避難訓練と救急救命訓練講習

＊社内内部監査の実績

・本社営業所	9/30	3/2	実施後社長へ報告書提出
・新木場営業所	10/2	2/18	実施後社長へ報告書提出

「輸送の安全に関わる重点事項」

＊経営トップを起点とする連絡体制の確立

・安全管理規定（PDF）に基づいた安全管理体制組織及び緊急連絡網（PDF）の周知

＊輸送の安全に関わる教育及び研修の実施

・乗務員年間教育の策定と月毎に区分けされた目標テーマの習得

・NASVA 等関係機関による運行管理者等の教育、研修（H29～H31 研修実施）

＊運行管理・労務管理の徹底

・ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフ全車導入（平成 27 年度）

・発車オーライ導入（平成 28 年度 4 月）最新 ALC 検知器入替（平成 28 年度 6 月）

・ドラレコ・デジタコ検証による労務・健康管理の強化

＊整備管理の徹底強化

・法令よりも厳しい社内点検基準（6 か月点検時の点検項目追加）の遵守と予防整備の強化

＊令和 1 年 1 2 月 2 6 日に「貸切バス事業者安全性評価認定制度」にて、2 ツ星の認定を頂戴致しました。

これを新たなスタートと位置づけ、運輸安全マネジメントの基本形である PDCA サイクルの構築に、拍車をかけて取り組んでまいります。

日本リース株式会社

代表取締役社長 松原一正